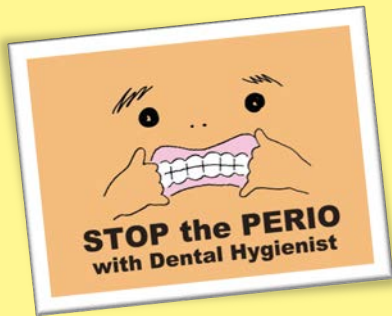


オンライン第1弾

第3回 歯周基本治療研究会



Live配信セミナー

2021年いよいよ新分類発動！



村上伸也教授
大阪大学歯学部

「歯周病新分類の解釈とその応用」

—その成果から学ぶべき事—

2017年11月、世界各国から100名以上の歯周病学分野のリーダーがシカゴに集結し、「the workshop on the classification of periodontal and peri-implant diseases and conditions」が開催されました。

その主たる目的は、前回1999年に歯周病分類が発表されて以来蓄積されてきた科学的根拠を基にして、その分類をアップデートし、新たな歯周病分類を提言することでした。その成果は「歯周病の新分類」として纏められ、アメリカ歯周病学会(AAP)・ヨーロッパ歯周病連盟(EFP)のウェブサイトにおいて現在も閲覧が可能です。

今回最も大きな変化が示されたのが「歯周炎の分類」です。1999年以来、歯周炎は侵襲性歯周炎と慢性歯周炎に大きく2つに分類されてきましたが、新分類では、これらが1つの歯周炎としてまとめられ、ステージ(病期,進行度合い)とグレード(進行リスク)の違いで表現されるように提言されています。

本講演では、歯周病の分類に関するこれまでの変遷を解説し、今回の新分類が我々の日常臨床やこれからの研究にどのような影響を及ぼすのかについて、解説させて頂こうと思います。 —村上伸也—

2020年11月29日(日)

13時～16時Live配信セミナー

(別日での配信は行いません)

講師：村上伸也教授(大阪大学歯学部教授)

参加申込み・詳細は歯周基本治療研究会HPから

<https://stoptheperio.com>

参加費の振り込みを持って受付完了となります

参加費

歯科医師：5000円

歯科衛生士：3500円

学生：1000円

大学院生：3500円

その他：3500円

